

総題 「試練を共にされるキリスト」

第7課 不滅の希望

小濱守宏

1. 安息日午後

今週のポイント

神のご品性を理解する時「希望は失望に終わることはない」と聖書は教えています。

今週のキーワード(重要な言葉)は、希望です。私たちが苦しい時、悲しい時、つらい時でも希望を持ち続ける事ができるように学んでいきます。

2. 日曜日: 大きな絵

殆ど人は、苦しみに襲われた時、その苦しみだけに注目してしまいます。

南ユダ王国がバビロン捕囚にあう、少しまえに活躍した預言者ハバクもそうでした。

ハバクは、「どうして、あなたはわたしに災いを見させ/労苦に目を留めさせられるのか。暴虐と不法がわたしの前にあり/争いが起り、いさかみが持ち上がっている。」(ハバク1:3)とユダ王国の人々の悪い行いを見て、心を痛め神様に訴えました。きっと、ハバクは、神様に「なぜ、なぜ、なぜですか、できない事は何一つないあなた様は、ユダの国民の悪い行いを止めないのですか?」と自分の苦しい思いに集中してしまい、神様のご計画を信じる事ができなかったのかもしれない。

預言者ハバクの思いに対して神様は、「定められた時のために/もうひとつの幻があるからだ。それは終わりの時に向かって急ぐ。人を欺くことはない。たとえ、遅くなっても、待っておれ。それは必ず来る、遅れることはない。」(ハバク書2:3)と語ります。

神様は、大きな絵を描いて教えるように、聖書の言葉を通して私たちに希望を与えてくださいます。

3. 月曜日: 私たちの父なる神

月曜日は、父なる神様の考え方について、学んでみます。

神様と人間は比べようがありません。神様は、完全で罪のないお方です。一方私たちは、不完全で罪人です。神様の計画やお考えは、レベルが高すぎて私たち人間には、理解できません。

「神は決してしようとされることをあなたに告げない」のです。神様は、「神がどのような方であるかをあなたに示す」だけです。わかりやすく言えば、私たちに不幸が襲ってきたとしても神様は、「私は、愛の神様だ。あな



ヘブライ 12 : 5の中に※3「鍛錬」という言葉がでています。これは、ある意味、教育と言ってもいいかもしれません。神様が私たちの先生となって色々と教えてください。この教育は、※3鍛錬、苦しい事も含まれますので、力を落としやる気がなくならないようにしなければなりません。なぜなら、「おおよそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです。」ヘブライ 12 : 11に書かれている通り、実が与えられるからです。

※3「鍛錬」：炉で柔らかくなった金属をねりきたえるように、心を成長させるために受ける厳しい試練のこと

## 7. 金曜日：まとめ

今週は、希望について学んできました。なぜ希望を持つ必要があるのでしょうか。それは、私たちの毎日の生活は、※4快いことばかりではなく、激しい失望や心が悲しみに満たされる事が多くあり、それらの出来事に負けずに素晴らしい人生を歩むためです。

私たちが、神様が(自分の)側近くおられる事実を信仰を通して知る時、この世の出来事に神様のご計画がある事や私たちにあって都合の悪い出来事を通して私たちを教育(※3鍛錬)して下さる事、そして神様に似た品性を与えようとしていることに気付くのです。

私たちは、神様がなされる事は理解できない事がありますが、神様の愛の品性は聖書を通し、人々との優しい交わりを通し、また、自然の素晴らしさから感じとる事ができます。神様のご品性を学ぶ時に希望が湧き上がります。与えられた希望は、私たちの品性を磨く※5エネルギーとなります。

※4 快い：良い

※5 エネルギー：力